

「獣医微生物学 第4版」正誤表

	誤	正
68頁 左段 下から 19行目	フェリン, ヘモグロビンなどの鉄結合蛋白質 (シデロフォア siderophore) との複合体であり,	フェリン, ヘモグロビンなどの鉄結合蛋白質との複合体であり,
68頁 左段 下から 14行目	鉄結合蛋白質を分泌し, 鉄-シデロフォア結合体	鉄結合蛋白質 (シデロフォア siderophore) を分泌し, 鉄-シデロフォア結合体
80頁 右段 下から 6行目	80%, イソプロパノールでは 30 ~ 50% の至適	80%, イソプロパノールでは 50 ~ 70% の至適
112頁 右段 下から 12行目	性結核菌), <i>Y. enterocolitica</i> (エルシニア腸炎) の	性結核菌), <i>Y. enterocolitica</i> (腸炎エルシニア) の
113頁 表 8-3 「仮性結核」の「病原体」の項	<i>Y. enterocolitica</i>	<i>Y. pseudotuberculosis</i>
155頁 表 8-23 「病原体」の項, 下から 2段目	<i>Plebotella</i> sp.	<i>Prevotella</i> sp.
466頁 右段 上から 1行目	属, ナニチア <i>Nanizzia</i> 属, トリコフィトン	属, ナニチア <i>Nannizzia</i> 属, トリコフィトン
467頁 表 14-2 「皮膚糸状菌症 (人獣)」の「主要原因菌」1行目	<i>Microsporium canis</i> , <i>Nannizzia gypsea</i> ,	<i>Microsporium canis</i> , <i>Nannizzia gypsea</i> ,
467頁 表 14-2 「スポロトリクス症 (人獣)」の「主要原因菌」2行目	<i>S. schenckii sensu stricto</i>	<i>S. schenckii sensu stricto</i>
467頁 右段 下から 3行目	70% が <i>Microsporium canis</i> で, <i>Nannizzia gypsea</i>	70% が <i>Microsporium canis</i> で, <i>Nannizzia gypsea</i>
468頁 左段 上から 6行目	への感染源となる。その他 <i>Nannizzia gypsea</i> ,	への感染源となる。その他 <i>Nannizzia gypsea</i> ,
468頁 右段 上から 1行目	(2) <i>Nannizzia gypsea</i> および <i>N. incurvata</i>	(2) <i>Nannizzia gypsea</i> および <i>N. incurvata</i>
468頁 図 14-9 キャプション	<i>Nannizzia gypsea</i> の集落	<i>Nannizzia gypsea</i> の集落
469頁 図 14-10 キャプション	<i>Nannizzia gypsea</i> の大分生子	<i>Nannizzia gypsea</i> の大分生子
469頁 左段 上から 3行目	関係の深い土壤中から効率に分離される。	関係の深い土壤中から高率に分離される。
474頁 右段 上から 9行目	<i>brasiliensis</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,	<i>brasiliensis</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,
474頁 右段 上から 12行目	<i>globosa</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,	<i>globosa</i> , <i>S. schenckii sensu stricto</i> ,
474頁 右段 下から 11行目	原性が認められる。スポロトリクスは二形成菌	原性が認められる。スポロトリクスは二形性菌
474頁 右段 下から 6行目	スポロトリクスは, 世界各地の温暖~熱帯に	スポロトリクスは, 世界各地の温帯~熱帯に
475頁 左段 上から 14行目	<i>sensu stricto</i> で, ブラジルと同様に	<i>sensu stricto</i> で, ブラジルと同様に